

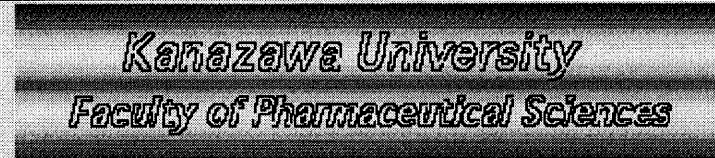

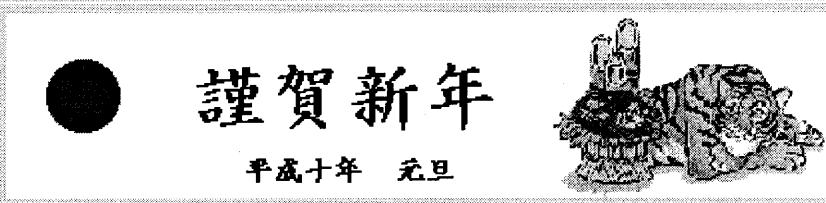

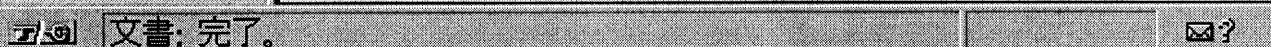


薬学部の紹介  
その誕生から現在まで

場所: <a href="http://dbs.p.kanazawa-u.ac.jp/indexY.html">http://dbs.p.kanazawa-u.ac.jp/indexY.html</a>		
 案内図・組織 スタッ紹介 高校生向け 大学生向け 一般向け データベース 学会・同窓会 薬系大学・ 関係機関 リンク集  研究室紹介 薬化学 薬品分析学 生化学 生薬学 薬物学 微生物薬品化学 衛生化学 薬品製造化学 製剤学 薬品物理化学 薬品合成化学 生物薬品化学 放射薬品化学 薬物代謝化学 医療薬剤学 運動生化学 結晶物理化学 薬用植物園 中央分析室 附属病院薬剤部	<div style="text-align: center;">   <b>Kanazawa University</b>  <b>Faculty of Pharmaceutical Sciences</b> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <b>薬とヒトを科学する薬学</b>        in English     </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">       1996年10月11日から数えてあなたは  番目のアクセスです。        (最新アップデート=1997/12/31)     </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">謹賀新年</p> <p>平成十年 元旦</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">       金沢大学薬学部の郵便番号は 〒920-0934 です。        みなさまにとって良い一年でありますように。        本年もよろしくお願ひ申し上げます。     </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>インターネット薬学部見学        ~写真とアンケートで見る薬学部の実態~</p> <p>クラブ活動紹介『薬学部音楽クラブホームページ』</p> <p>クラブ活動紹介『漢方ホームページ』</p> <p>日本海垂油流出事故に伴う環境汚染モニタリング</p> <p>薬用菌類研究会ホームページ(生薬学研究室)</p> <p>ご質問・ご意見など下記にお寄せ下さい。        〒920 金沢市宝町13-1 TEL 076-234-4400 (代表)        WebMaster (E-mail: webmast@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp)</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">  (薬学部内専用) 掲示板と掲示   アクセス統計解析     </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">       金沢大学ホームページへ        金沢大学他部局     </p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">         文学部   法学部   経済学部   理学部   教育学部   医学部医学科   医学部        保健学科   工学部   自然科学研究科   がん研究所   総合情報処理センター          金沢大学附属図書館   事務局   学生部   その他       </p> </div>	
		

昨年、10月に公開した「薬学部ホームページ」について紹介します。

世はまさにインターネット時代、我が金沢大学も例外でなく、各部局でもホームページが開設され、金沢大学ページ（拡大広報専門委員会版）からリンクがドンドン張られ、薬学部のみ（？）が未開設と言った寂しい思いに駆られていた。日本薬学会第116年会（金沢、平成8年3月）のホームページが前述の大学ページに公開されていたにもかかわらずである。6月頃、薬学部にもUNIXサーバーが導入された。その時、ネットワーク委員会の前身のネットワーク連絡会（各研究室1名のボランティア集団）で薬学部ホームページを作成しようと言うことになりました。各研究室紹介の概略や、さらには学部紹介のページなど考え、薬学部事務にあるマックを作業用サーバーとして作業にとりかかった。UNIXなる物、聞いたことはあっても触るのも始めてと、全くの手探り状態であった。

真っ先に、全国的にも日本薬学会の活動としては珍しい北陸支部主催「第10回楽しい薬学部への1日体験入学」のページを7月10日に開設し、大学ページからリンクを張っていただいた。これで一気に一気にホームページ開設とはなかなか行かず、種々の事情で正式バージョンの公開は10月11日になってしまった。満を持してと言うべきか、各研究室の足並みの乱れやハードの面の不慣れさと言うか、ボランティア集団の限界も見えかくれた。

薬学部ホームページ構成と特色（百文（聞）は一見に如かず！ぜひホームページをご覧ください。）

1. 案内図・組織、薬学部130年譜（130年の歴史・歩みは必見！）
2. 学部紹介（高校生向け、大学生向け、一般の皆さんへと項目分けが特色）
3. スタッフ紹介（研究室単位で、各研究室ページへリンク。電話番号つき）
4. 各研究室ページとデータベース（各研究室のスタッフ・学生・講義・研究内容紹介と論文集、各ページは相互リンク）
5. 学会・同窓会（薬学部関連の金沢開催学会を中心に。同窓会はまだまだこれから。お便りコーナーはまだまだまばら）
6. 薬系大学・関連機関リンク集（不本意ながら、一番好評！リンク申し込みが多く、また、「薬局」48巻7月号に全国8カ所の便利サイトの一つとして紹介された）
7. コミュニケーション広場（当初の意気込みとは裏腹に、現在はほんの片隅へ）
8. 掲示板・アクセス統計（薬学部内専用。有効利用はこれから）

現在までの経緯を振り返ると、11月には学部委員会としてネットワーク委員会が発足し、正式に情報発信の責任を負い、またホームページが認知された。本委員会はホームページ維持・管理の他、メールサーバーへのユーザー登録・削除、サーバーの保守・管理も以下のような分担で行っている。各研究室からの17名の委員からなり、学部全体のページ作成・管理（2名+必要になったページにより適宜選出）、サーバー保守・管理（3名）、管理者宛メール管理（1名）です。会議はほとんどオンラインで行う様にしており、今までオフライン会議は確か4回程度でした。

相前後しますが、10月には学生クラブ活動として「漢方ホームページ」が、本年5月に「音楽クラブ」も仲間入りした。さらに本年1月に入り、ナホトカ号事故に伴う環境モニタリングのページ、金沢大学公式ホームページ公開、入試情報あるいは合格発表ページ公開をトップに紹介した。また、教授公募情報・研究科学生募集情報と身軽な薬学部ゆえの情報発信を随時行ってきた。

6月1日に金沢市内電話番号変更を契機として、各研究室ページの97年版への更新・ディレクトリー変更や「インターネット薬学部見学」ページ公開を行った。大阪朝日放送の天気予報ページのデータ書き換え、神戸市少年殺害事件の写真公開問題とインターネット境界のマイナスイメージが強い中、セキュリティに配慮したつもりである。また、こ

の作業を通じ、各委員の力量は一段とアップし、強力なネットワーク対応集団が出来上がったものと思う。この日が薬学部にとって、集中管理型ネットワークから分散処理型ネットワークに対応した、言い換えれば、スタンドアローン型からネットワーク対応型に変身した日かもしれない。

他方、薬学部ホームページ紹介兼 WWW ブラウザーの簡易マニュアルを作成したり、薬学部図書室の3台の情報端末のメール環境設定、端末個々の設定相談など、ネットワーク利用促進にも微力ながら力を注いでいる。ちなみに薬学部サーバーは、その利用登録者は200名を越え、事務関係書類の伝達手段としてEメールが多いに利用され、WWWサーバーのみならずメールサーバーとしても活躍している。

順風満帆のように書いてきたが、問題がなくはない。

1. 6月から各研究室のページ維持・管理の主体は各研究室にゆだねられたが、学部全体のページの管理は未だ一部の委員の負担になっている。
2. 事務サイドの対応が今後待たれる。
3. WWW ページの宿命であるが、公開と同時にオリジナリティーが消滅してしまい、なかなか公正な評価が得られない。
4. 各ページの充実が思いにまかせない。英語版ページや地域社会との連携を意図し、石川県薬剤師会や病院薬剤師会にアプローチしているものの未だ実現していない。
5. 情報発信源と作成・管理が同一であること（分散型）が理想であろうが、部局間の有機的協力体制が出来ればと願い、金沢大学公式ホームページに期待するところ大である。
6. サーバーがクラッシュしたらどうしよう. . . . .（眠れないのです。ちょっとオーバー）

我がネットワーク委員会は「金沢大学における情報発信等に関する基本方針」に沿いながら、一方で、様々な問題には臨機応変に柔軟に対応してきたが、時として不安や孤独感を感じる。もっともネットワークに精通しているはずにもかかわらず、例えば、大学ホームページ管理者ネットワークなどが構築されておらず、紺屋の白袴と言えなくもない。総合情報処理センター広報専門委員会はじめ各種委員会のご支援を期待しております。薬学部ホームページ紹介からちょっとずれてしまいました。このあたりで責めを果たしたことにさせていただきます。終わりにになりましたが、終始変わらぬ叱咤激励をいただいております二階堂薬学部長にお礼申し上げます。

ともかくにも去る7月8日には「第11回楽しい薬学部への1日体験入学」のページをアップして、何とか1年が過ぎた。今後も、情報の受け手が見えない不安を感じつつ、それでもオリジナルで新鮮かつ美味しい情報を手作りの味で届けるべく、委員一同努力して行ければ良いなと感じるこの頃です。

#### ホームページ脚注

トップページの小ロゴの「KPS」は Kanazawa University Faculty of Pharmaceutical Sciences の略です。また、偶然ですが、ASCII社7月刊雑誌付録「3Dメガネ」で見ますとロゴが立体的に見えます。

(文責： 薬学部ネットワーク委員会 清水・木津)